

# オープンイノベーションに向けた 〈新しいインターンシップ〉のかたち - 求められる研究人材像とその育成 -

2017年10月17日(火)14:30開始 於 東京大学 弥生講堂一条ホール(東京大学農学部構内)

**プログラム**(予定、敬称略) ※開場:14:00~

14:30 **開会のご挨拶** 北野正雄 一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会代表理事(京都大学理事・副学長)

14:35 **ご来賓挨拶** 佐藤文一 経済産業省 大臣官房審議官(産業技術環境局担当)  
松永賢誕 文部科学省 高等教育局 専門教育課長

14:50 **基調講演「世界の経営学からみたイノベーション創出への視座」**

入山章栄 早稲田大学ビジネススクール准教授

15:50 **本協議会の取り組みについて**

藤森義弘 一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会事業責任者

(16:05 休憩)

16:20 **研究インターンシップ体験 学生報告**

中沢駿仁 東北大学大学院工学研究科 応用物理学専攻 博士課程2年(ダイキン工業にて研修)

松本尚人 筑波大学大学院数理物質科学研究科 化学専攻 博士課程3年(日本ゼオンにて研修)

16:50 **パネル討論「クリエイティブな能力向上はいかに実現できるか」**

**モデレーター**

永山 晋 法政大学経営学部 専任講師

**パネリスト**

北野正雄 京都大学理事・副学長

稲塚 徹 ダイキン工業株式会社常務専任役員

小林傳司 大阪大学理事・副学長

菅谷博之 東レ株式会社先端材料研究所リサーチフェロー

若山正人 九州大学理事・副学長

吉田智一 シスメックス株式会社執行役員・中央研究所長

17:50 **閉会のご挨拶** 稲塚 徹 一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会副代表理事(ダイキン工業株式会社常務専任役員)

18:00 **交流会** 於 東京大学弥生講堂ロビー (参加費 3,000円、学生無料)

# パネル討論 クリエイティブな能力向上はいかに実現できるか

## ◆◇パネリスト略歴◆◇

[大学]



京都大学 理事・副学長

**北野正雄**  
Masao Kitano

工学博士。1975年京都大学工学部卒業、1977年に同大学大学院工学研究科修士課程修了、京都大学工学部助手に就任。1984年にプリンストン大学物理学学科助手を2年間務め、1988年に京都大学工学部講師・助教授、1999年に京都大学大学院工学研究科教授。その後工学研究科附属情報センター長、教育研究評議会評議員などを歴任し、2012年に京都大学大学院工学研究科長・工学部長に就任。2014年より現職。専門は量子エレクトロニクス、量子光学、電磁波光学。一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会代表理事。

[企業]



ダイキン工業株式会社常務専任役員  
テクノロジー・イノベーションセンター 副センター長

**稲塚 徹**  
Toru Inazuka

1983年に神戸大学工学部機械工学科を卒業後、ダイキン工業株式会社入社。2002年に株式会社ダイキン空調技術研究所兼研究管理部主席研究員を務め、2004年以降、株式会社ダイキン空調技術研究所エグゼクティブリーダー、環境技術研究所エグゼクティブリーダーを歴任し、2008年に専任役員に就任。2015年より現職。一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会副代表理事。



大阪大学 教育研究総括理事・副学長

**小林傳司**  
Tadashi Kobayashi

1978年に京都大学理学部生物学科を卒業し、1983年に東京大学大学院理学系研究科科学史・科学基礎論専攻博士課程単位取得退学(理学修士)。1987年に福岡教育大学講師、助教授、1990年より南山大学人文学部助教授、教授、社会倫理研究所長、2005年より大阪大学コミュニケーションデザインセンター教授、副センター長などを歴任。科学技術社会論学会の設立に参加。2015年に大阪大学理事・副学長に就任。2017年より現職。専門は科学哲学・科学技術社会論。一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会監事。



東レ株式会社先端材料研究所  
新エネルギー材料研究室長  
リサーチフェロー(分離材料設計)

**菅谷博之**  
Hiroyuki Sugaya

1987年大阪大学大学院基礎工学研究科化学工学系専攻修士課程修了後、東レ株式会社入社、人工腎臓などのメディカルデバイスの研究開発に従事。2008年大阪大学大学院基礎工学研究科博士(工学)取得。2009年東レ・リサーチフェロー(分離材料設計)認定。その後2011年に先端材料研究所先端医療材料研究ユニットリーダー、2014年に同研究所先端構造高分子材料研究室長を歴任し、2015年より現職。



九州大学 理事・副学長

**若山正人**  
Masato Wakayama

工学博士。1978年に東京理科大学理学部を卒業し、1985年に広島大学大学院理学研究科博士課程を修了。福山大学専任講師、平成元年に鳥取大学助教授。九州大学教授、同大学総長補佐、理学部数学科長・大学院数理学府専攻長、産業技術数理研究センター長、高等教育開発推進センター長などを歴任し、2010年に九州大学副学長に就任。九州大学マス・フォア・インダストリ研究所所長を務めたのち、九州大学基幹教育院院長代理を経て、2014年10月より現職。一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会理事。



シスメックス株式会社執行役員  
中央研究所長 兼 MR事業推進室長

**吉田智一**  
Tomokazu Yoshida

1995年に岡山大学大学院自然科学研究科にて薬学博士を取得後、国立循環器病センター研究所で循環器領域研究に従事。1998年よりNovartis Pharma 宝塚研究所、つくば研究所にて中枢性疾患、がん領域での創薬研究立ち上げ・推進を実施。2001年よりシスメックス株式会社中央研究所にて、がん、炎症性疾患、慢性疾患、中枢性疾患領域での診断原理・実用化に携わったのち、2008年研究開発企画本部R&D戦略部技術企画課長、2011年R&D戦略部長、2013年同社中央研究所副所長を歴任し、2015年に中央研究所長に就任。2017年より現職。

## ◆◇研究インターンシップ体験報告・学生紹介◆◇

### ◆発表要旨

インターンシップはこういった活動か、敷居は高いのか、そのような情報を集めるために参加したインターンシップ交流会でダイキン工業に興味を持ち、2017年5月より2か月間のインターンシップに参加した。企業の研究職を体験したことで、実験計画の重要性とグループで行う研究の面白さを理解した。また、実際に仕事を体験することで研究職のイメージが具体化し、就職意欲の向上に繋がった。当日は、大学に戻ってからの変化も踏まえて、インターンシップを通して感じたことを述べる。



**中沢 駿仁** Hayato Nakasawa  
ダイキン工業株式会社にて研修  
東北大学大学院工学研究科  
応用物理学専攻 博士課程2年

### ◆発表要旨

私は博士課程卒業後に企業の研究者として働くことを希望し、日本ゼオン株式会社にて2016年7月より3ヶ月のインターンシップに参加した。参加の目的は企業と大学の違いを知ること、自身の専門性を広げることであった。実際に企業の研究職を体験し、企業でも学術研究に携わる機会があることや、大学で勉強したことがおおいに役に立つことを理解した。本発表ではこれらに加え、インターンシップを通して得た気づきや自身の変化について報告する。



**松本 尚人** Hisato Matsumoto  
日本ゼオン株式会社にて研修  
筑波大学大学院数理学物質科学研  
究科 化学専攻 博士課程3年